患者の皆様へ

2026 年 9 月 1 日
呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「腫瘍に関するゲノム・遺伝子解析研究を目的とした検体の保存・利活用の体制構築（呼吸器外科）」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当院にて 2026 年 10 月から現在までの間に腫瘍の診療を受けた方の腫瘍に関するゲノム・遺伝子情報、診療情報などを利用させていただいております。この研究で、試料・情報が何のために、どのように使われているのか詳しく知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．研究課題名　「腫瘍に関するゲノム・遺伝子解析研究を目的とした検体の保存・利活用の体制構築（呼吸器外科）」

２．研究の意義・目的

この研究では、あらかじめ同意をいただいたうえで、診療の際に使われた血液や組織などの検体を保管し、新しい研究を行う際にそれらの検体が必要になった場合、スムーズに活用することができます。このことによって、新しい診断方法や治療法の開発につながることを目指しています。

３．研究の方法

〇対象となる患者さん

当院呼吸器外科にて 2026 年 10 月から現在までの間に腫瘍の診断を受け、本研究計画に同意をいただいた方。または当時未成年で、代諾者による同意をいただいた方。

〇利用する検体・情報

- 保存されている腫瘍検体、血液検体およびそれらから抽出したゲノム DNA、RNA、タンパクなど
- 既に解析したゲノム・遺伝子に関する情報
- 背景：年齢、性別、現病歴、主訴、全身状態
- 腫瘍の状態：原発部位、臨床病期、病理病期
- 治療法：手術、放射線治療、化学療法など
- 治療効果や治療後の経過：腫瘍の消失や残存など

５．外部への検体・情報の提供

今後の研究計画（当院の倫理審査委員会の審議による承認されることが条件）によっては検体・情報が海外を含めた外部施設に提供される可能性があります。

６．研究組織

研究責任者：呼吸器外科　鈴木 秀海

７．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

８．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

研究に検体・情報を利用して欲しくない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関　　：千葉大学医学部附属病院
本件のお問合せ先：医学部附属病院　呼吸器外科
医師　稲毛 輝長
０４３（２２２）７１７１　内線 5464

文部科学省･厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。